

令和 6年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生涯学習推進課／文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	234,181,000円(令和6年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R06 下半期	R06 上半期	R05 下半期	R05 上半期	R04 下半期
利用者数(単位:人)		81,145	61,331	73,492	59,377	58,933
各室稼働状況(%)	大研修室	78.8	80.2	78.9	75.7	75.9
	中研修室	85.9	85.9	90.6	87.0	88.2
	研修室50	93.5	78.5	91.2	81.9	85.9
	研修室30	93.5	90.4	90.6	90.4	90.0
	小研修室1	97.1	96.0	95.3	94.4	98.2
	小研修室2	89.4	86.4	90.6	85.9	90.6
	小研修室3	92.9	88.1	91.2	92.1	87.6
	小研修室4	97.1	93.2	93.6	91.5	95.3
	和室研修室1	30.6	23.7	23.4	13.0	29.4
	和室研修室2	84.7	77.4	78.4	73.4	82.9
	音楽スタジオ大	84.7	85.3	78.9	73.4	64.7
	音楽スタジオ小1	88.2	80.8	83.6	72.9	67.1
	音楽スタジオ小2	53.5	59.3	0.0	0.0	0.0
	パソコンルーム	70.6	72.9	74.9	71.8	78.8
クラフト室	77.6	67.2	66.1	61.6	64.1	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオ、SNSなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能・男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能・男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能・市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能・男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①参加・参画の促進 ～市民一人ひとり、誰もが主役の場づくり～ ②文化芸術を担う人材の育成、顕彰 ～人づくりと活躍の場づくり～ ③文化芸術施設の充実 ～誰もが使いやすい拠点づくり～ ④文化財・伝統文化の継承や活用 ～「岐阜」を伝える絆づくり～ ⑤文化芸術を生かしたまちの活性化 ～活力に溢れた地域づくり～ ⑥協働による文化芸術の推進 ～みんなで文化芸術を育てる社会づくり～	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー4講座開催、284人受講。各種団体(岐阜市埋蔵文化財調査事務所)との連携講座1講座開催、161人受講。国際講座1講座開催、71人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第3、4期開催、160人受講。 ②市民講師養成事業2講座開催、130人受講。市民講師ステップアップ講座1講座開催、2人受講。ボランティア講座2講座開催、154人受講。市民自主講座23講座開催、延べ1283人受講。R7年度市民自主講座開設希望者説明会3回開催、64人参加。 ③ハートフルフェスタを開催。にぎわい創出事業6公演開催。生涯学習・社会教育関連施設職員のための研修講座1講座開催、23人参加。生涯学習・ボランティア通信誌の発行(Vol.97、98) ④市民活動ルームを運営(延べ2,027人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(768件の相談、75件のボランティアコーディネート)。広報ぎふボランティア通信7回掲載。 2. 男女共同参画推進業務 ①わたしも輝く!女性のエンパワーメント講座、男女共同参画セミナー、心とからだ・性の健康関連講座、お出かけ!お迎え!男女共同参画講座の4事業を実施し、延べ161人受講。 ②インスタグラム、Xによる情報発信、また「ワーク・ライフ・バランス及び女性に対する暴力をなくす運動」や「国際女性デー及び女性の健康週間」に合わせたパネル展示を実施。男女共同参画情報誌「織」を発行。 ③ハートフルネットぎふ例会を4回実施。交流イベントとしてハートフルフェスタを実施、ワークショップ・展示等で3,674人参加。 ④ 専門相談を実施、延べ相談件数505件(面接相談:122件、電話相談:383件)、あしんつながりステーションを開設、延べ相談件数75件(面接相談:67件、メール相談:8件) 3. 市民芸術文化振興業務 ・岐阜市民文化祭の開催【①、②、③、④】 中心市街地にある生涯学習センター、文化センター等の施設にて、芸術祭(5部門、29公演、出演者370人)、美術展覧会(7部門、入賞入選327点)、文芸祭(一般:9部門、入選入賞428点/小中:6部門、入選入賞296点)を開催した。 ・岐阜市芸術文化協会との連携【①、②、④、⑥】 リレートーク(下半年1回)、まちかどコンサート(下半年2回)の開催、広報誌の発行(7月、11月、3月)。 ・文化事業助成(岐阜市芸術文化・スポーツ基金)【②、⑤、⑥】 下期は7件を選定し助成した。 ・岐阜市芸術文化奨励賞【②、⑥】 岐阜市芸術文化奨励賞を2組に授与した。
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) “(16・13項目)(年2回) “(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回) 定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備(総合)保守点検(年2回) ④空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤自動扉保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①2/25に実施 ②11/20、1/15、3/19に実施 ③毎週水曜日に実施 1/15に実施 上半期に実施 ④1/28に実施 ⑤2/25に実施 ⑥3/7～25に実施 ⑦11/11、1/16、3/21に実施 ⑧10/29に実施 ⑨2/25に実施 ⑩2/25に実施 ⑪次回は令和7年度に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどをしている。 ③関係法令を遵守し、運営されている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>実施期間: 10/15～21、11/8～14、12/5～11、1/10～16、2/12～18、3/7～13 アンケート総数: 329件</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○利用した部屋は 大研修室 3.6%、中研修室 7.0%、研修室50 6.4%、研修室30 7.9%、小研修室1 11.9%、小研修室2 10.6%、小研修室3 13.4%、小研修室4 10.0%、和室研修室1 4.0%、和室研修室2 8.5%、音楽スタジオ大 4.6%、音楽スタジオ小1 3.6%、音楽スタジオ小2 2.1%、クラフト室 5.8%、パソコンルーム 0.6%</p> <p>○スタッフの対応について 満足 83.3%、やや満足 9.4%、ふつう 7.3%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 78.7%、やや満足 10.9%、ふつう 9.4%、やや不満 0.6%、不満 0.3%</p> <p>○全体的な満足度 満足 79.9%、やや満足 12.8%、ふつう 7.3%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・マイクの調子が悪かったのですが、対応してくださり助かりました。ありがとうございました。(大研修室) →ご不便をお掛けして申し訳ございませんでした。 今後は、マイクも含め音響機器点検を強化し快適な環境を提供できるよう努めます。</p> <p>・大スタジオと小スタ1のドラム椅子、一見すると壊れていないように思えるかもしれませんが、劣化しているので小スタ2の椅子と同じものを導入してほしいです。お願いします!(音楽スタジオ大) →ご迷惑をおかけしました。 すぐに点検をしたところ、不具合を確認したため、調整しました。椅子の入替については今後検討させていただきます。</p> <p>・最近ピアノの音が狂っているところがあります。(音楽スタジオ大) →ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。2月25日に調律を行いました。</p> <p>・もし予備の長机が1～2台あると受付や荷物置きに使えるので助かると思いました。(クラフト室) →貴重なご意見ありがとうございます。 部屋のスペースを考えますと予備の長机を配置することは困難です。受付や荷物置きとして必要な場合は、貸出も可能ですので、スタッフにお申し付けください。</p> <p>・使用料金の値上げは、とても残念です。(小研修室4) →岐阜市では、昨今の物価高騰等により施設の管理運営費が上昇していることを踏まえ、令和7年4月1日より、施設の使用料の改定を行います。 今後も市民の皆様にご利用いただける魅力ある施設となるよう、更なるサービス向上をはかり、持続可能な施設の管理運営に努めてまいりますので、ご理解の程宜しくお願いします。</p> <p>・冬の1月の和室は、お掃除が終わったら、暖房をつけておいていただけると非常に助かります。(和室研修室1) →申し訳ございません。 快適な温度で研修室をご使用して頂きたいのですが、省エネの観点からご対応できかねます。 ご理解の程宜しくお願いします。</p> <p>・電車の音が気になりました。防音があると良いです。(研修室50) →JR高架下という立地上、電車の走行音が聞こえることがあります。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。</p> <p>・換気が不十分だったのか、前使った方の匂いがした。(小研修室1) →不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 においが残るような活動はお断りしていますが、気になる場合は、スタッフまで申し出ください。</p> <p>・Wi-Fiがほしいです。(和室研修室2) →大変申し訳ございませんが、和室研修室には、インターネット環境がありません。 現在、Wi-Fi設備が利用可能な研修室は以下のとおりです。 <常設の無線Wi-Fiがある研修室>・大研修室・中研修室・研修室50・パソコンルーム <無線Wi-Fiの貸出し可能な研修室>・研修室30・小研修室1・小研修室2・小研修室3・小研修室4 ※貸出用無線Wi-Fi(1台)は、共有備品です。 利用を希望の方は、窓口又は電話で予約をしてください。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習/女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	S	S
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	A	A	A
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	A	A	A
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A
区分評価			A			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく乖していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか	A	A	A
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	A	A	A
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか	S	S	S
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働生活部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
区分評価			A			
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエア-G内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み
に対する評価

●生涯学習/女性/センター

指定管理仕様書・事業計画書及び市の方針に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設の運営・管理と事業展開を行った。

<施設管理>

- ・利用者からの要望を基に、改善できる箇所はないか検討し、以下のような改善を図った。
 - ・音楽スタジオ 各種設備・備品のメンテナンス
不調の音響機器(スピーカー/シンセサイザー/ギターアンプ/ベースアンプ)の修繕や消耗部品(ドラムヘッド/マイクヘッド等)交換を実施し、快適に利用できる環境を整備した。
 - ・快適な室内環境の提供
経年劣化により効率が悪くなった空調設備でも効率的に室内を冷やすことができるよう、設置する扇風機の台数を増やし対応した。
 - ・貸出備品の周知
利用者の要望により、R6年度上半期に貸出備品として整備したWi-Fiルーターについて、利用者へ広く周知し、研修室の利用促進につなげた。
- ・事故防止対策として、定期点検の他、日常的に施設・設備の点検を行い、**危険箇所や要修繕箇所の早期発見と、迅速な対応**を実施した。
 - ・照明設備修繕
器具不良箇所のLED化(情報コーナー、研修室50、図書館分館)
 - ・消防設備修繕
自動火災報知設備感知器取替、防火扉の調整
 - ・給排水設備
トイレ漏水れ修繕、温水洗浄便座の取替、汚水ポンプ詰まり修繕
 - ・その他
駐輪場引戸の修繕
- ・光熱水料費が高騰する中、利用者へ協力を求め、無理のない範囲内で、**日常的に以下のような省エネ対策に取り組んだ**。
 - ・電気設備
必要のない場所のこまめな消灯
契約電力を抑えるため、特定の時間帯に電力消費が集中すること避ける(機械換気の起動時間の分散化)
 - ・空調設備
冷房・暖房時の設定温度範囲を制限
利用状況や天候に応じた温度管理
扇風機やサーキュレーターの併用
- ・空調設備改修工事に伴う**空調停止による影響を最小限にとどめる**ため、利用者へ理解を求め、できる限りの対策を講じた。(代替の暖房設備の提供、換気の徹底、事前案内等)
- ・各種安全マニュアルに基づき、安全・安心な施設運営に努めた。今期も事故等が発生した際は、**生涯学習センターに情報を集約し、全館一丸となって迅速に対応した**。
- ・利用者の安全・安心を最優先とした上で、業務の効率化や調達コストの最適化、省エネ対策の推進を図り、**可能な限り経費削減に努めた**。

<リスク対応>

- ・防犯対策として、防犯カメラでの監視や警備員の巡回に加え、職員が日常的に館内を巡回した。また、**不審者情報や迷惑行為等をハートフルスクエアーG全体で共有した**。
事例：・大声で怒鳴る/暴言を吐く等の迷惑行為 ・便器へ異物の投入
・自由通路での喫煙、放置自転車等迷惑行為
- ・下半期においては、上記の事例が頻りに発生したことから、**ハートフルスクエアーG連絡会議に岐阜中警察署警備課2名を招き、情報共有と対応方法の確認**を行い、**警察との連携強化**を図った。
- ・2月に発生した階段からの転落事故事案を受け、すぐに**対応に当たった職員の行動検証を実施**するとともに、**全職員へ対応内容の共有**を行った。また、危機管理マニュアル内「救急救命対応マニュアル」「事故等発見時対応マニュアル(初期対応)」の見直しを行い、**明記されていなかった以下2点を追加し、ハートフルスクエアーG全館で再確認**を行った。なお、当事案を想定した事故対応訓練(全館)をR7年4月に実施。
 - ・ハートフルスクエアーG内で発生した事件・事故は、生涯学習センターに情報を集約し対応する
 - ・状況に応じて、現場周辺の利用・通行を停止する
- ・3階駐車場内での物損事故が1件発生したが、**緊急点検及び応急処置等の迅速かつ適切な対応を実施**したことで、**利用者への影響を最小限にとどめる**ことができた。
- ・新たに1名が甲種防火管理者講習を受講し、館内の火災予防および安全管理の強化を図った。
(講習修了者3名在籍)
- ・“応急手当協力事業所”登録施設として、職員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受講し、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を行った。(階段からの転落事故による救急搬送、急病による救急搬送等)
- ・危機管理の上で、**夜勤では不審者対応として必ず男性職員を配置**した。また、日勤でも副所長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。
- ・防災士の資格を有する職員を中心に緊急時、災害時の対応マニュアルを基に共通理解を図った。今期は、通常の消防訓練だけでなく、各種設備の警報発報時の対応訓練も併せて実施した。
- ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう**個人情報管理の徹底**を図った。
- ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。

<その他>

- ・生涯学習/女性/センターの主催講座及び市民自主講座、文化振興事業は、岐阜市の「**長良川大学**」講座に位置づけられており、令和6年度下半期には**生涯学習:22講座、市民自主講座:23講座、女性センター:3講座、文化振興事業:1講座・14公演・3事業を実施**した。
- ・多様な場面において、**積極的に関係機関・団体との連携**を図った。
 - ・隣接するASTY岐阜とのイベント時の広報協力(ポスター・看板設置他)
 - ・国民文化祭PRブースの設置(PR動画専用モニター設置、パンフレット等配架)
 - ・ドリームシアター岐阜、少年自然の家とイベント時の協力(ブース出店)
 - ・ドリームシアター岐阜、中央青少年会館を除く各青少年会館で文芸祭小中学生の部の各部門上位3賞の作品展示
 - ・JR岐阜駅周辺施設連携事業「クリスマス花飾り『花で彩るクリスマス』」への協力。交流サロンで“岐阜県立大垣養老高等学校”の作品展示を行った。
- ・館内の**にぎわい創出の一環**として、中央階段前の吹き抜け部分に**全職員が協力して季節やイベントに合わせた装飾**を行った。(例:ハロウィン、ハートフルフェスタ、生涯学習係講座事業に関連した装飾)
- ・Instagramを活用したイベント紹介や展示紹介等を積極的にを行い、**タイムリーな情報発信**に努めた。
- ・市外中学校からの依頼により、「職場体験学習」として中学生4名を受入れ、きめ細やかに指導・支援を行った。その他に、市内小中学校3校の施設見学の受入れを行った。
- ・岐阜大学全学共通教育科目「社会教育施設・支援者論」履修学生28名を対象に、生涯学習拠点施設としての事業運営や施設管理についての講話および施設案内を行い、**生涯学習の実践について学ぶ機会を提供**した。
- ・快適な公共空間を提供するため**アダプト・プログラム**に参加し、ハートフルスクエアーG全体で施設周辺の美化に努めた。

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>＜実施事業＞</p> <p>●生涯学習センター</p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術推進基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、岐阜市における生涯学習の啓発・推進に努めた。</p> <p>生涯学習センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、生涯学習、文化振興各係の講座は「長良川大学」講座として実施した。</p>
	<p>◇生涯学習係</p> <p>生涯学習拠点施設として機能の充実に励み、誰もがいつでも自らを磨き、学びの成果を生かせる環境づくりに取り組んだ。さらに、研修会への参加や他施設の事業視察を積極的に行い、生涯学習施設職員としての専門性を高めた。</p>
	<p>・生涯学習へのきっかけと現代的課題・地域課題の解決に向けた学習機会の充実</p>
	<p>講座事業において、学習機会の充実のために「グリーンケア」といった地域課題の解決に向けた題材や、「星空」や「お茶」、「動物心理」といった身近で話題性のあるテーマを題材に実施することで、市民の多様なニーズに対応し、高い満足度を得ることができた。</p> <p>今期においては、下記の点に注力し取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士の交流と実践的な体験を目的として、ワークショップ形式の講座を多く取り入れ、各事業内容の充実と学習機会の拡充を図った。 ・合理的配慮を提供するにあたり、対話を重視したサービスの提供を行った。 例:スクリーンの映像が見えづらい・音が聞こえづらい→前方の席を留意 資料の文字が小さくて読みにくい→拡大して提供
	<p>・ハートフルレクチャー</p> <p>「隠れき わさびの日本史～誰がわさびを有名にしたのか～」 身近な食物をテーマに、クイズ形式も取り入れながら最新の研究成果を学べる機会を提供した。</p> <p>映画上映会「グリーンケアの時代に～あなたはひとりじゃない～」(2回上映) 誰もが気軽に参加できるよう、講演やワークショップ形式だけでなく、映画上映会を実施した。夜間の時間帯を含め2回上映し、学びの場の拡充を図った。</p>
	<p>・各種団体との連携講座</p> <p>(株)伊藤園との連携「おいしいお茶をいれてみませんか?」 ワークショップ形式を導入。実際に急須を使ってお茶をいれる体験を通して、総合的にお茶に関する知識・技能を習得する場を提供した。</p>
	<p>・「パソコン講座」(第3期・第4期)</p> <p>パソコン技術を習得した市民による「岐阜ITコラボレーター会」と協働でパソコン講座(10講座71回)を実施し、ワードやエクセルなどの基礎的な知識や技能を学ぶ場を提供した。また、参加者の要望を受け、個別の質問に応じる「IT相談会」を1回実施した。</p>
	<p>・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成</p>
	<p>・市民自主講座の開講支援</p> <p>令和6年度は50名の市民講師が講座を開講し、そのうち23講座が開講。9月～2月にかけて延べ110回で1,283名が参加した。講座終了後にサークル化へ繋げた講師や岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」へ登録した講師もあり、市民講師の育成と市民活動の発展に寄与した。(R5年度 18講座開講延べ83回で688名参加)</p>
	<p>・市民講師養成講座</p> <p>「魅力ある講師になるための、はじめの一歩」(コース講座・全4回) ワークショップ形式を取り入れた実践的な内容とした。修了者には、地域で活躍できるように市民自主講座の開講や岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」への講師登録を案内し、学んだ内容を生かす場を提供した。</p> <p>「『カスタマーハラスメント』はなぜ生まれるのか? ～よりよい人間関係を築くために、いま、できること～」(公開講演会) 公開講演会では、社会問題となっているカスタマーハラスメントの現状を踏まえ、相手の感情に配慮することや対話などのコミュニケーションの重要性について学ぶ場を提供した。</p>
<p>・ボランティア講座</p> <p>「グリーンケアの扉を開けて～悲しみへの寄り添い方～」 誰もが避けることができない喪失体験へのサポートとして、グリーンケアを題材とした講座を実施。ボランティア活動に必要な知識とともに、身近な課題に関心を持つきっかけを提供した。本講座に先駆けてグリーンケアをテーマにした映画上映会を開催したことで、応募者増につなげた。</p>	
<p>・生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信</p>	
<p>・「ハートフルフェスタ2025」</p> <p>岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」に登録している団体に、日頃の活動や成果を紹介する場として参加を呼びかけ、ステージ発表24団体、展示18団体、体験ブース14団体が参加した。今年度は、館内ラリーや段ボール迷路、怪獣大集合展など、子どもから大人まで楽しめる催しをハートフルスクエアG全館一体となって実施し、各施設の周知と利用促進に繋げた。</p> <p>相乗効果による情報発信の拡充を図るため、関係機関等と連携した展示を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理蔵文化財調査事務所による 遺跡発掘調査の成果及び発掘物の展示 ・R5年度岐阜市芸術文化奨励賞受賞団体「岐阜新文化会」によるイラスト展 ・岐阜市男女共同参画啓発事業「アンコンシヤス・バイアス川柳」受賞作品の展示 ・岐阜市文芸祭 第21回小・中学生の部 作品展・表彰式」の開催告知のための入賞作品展示 	
<p>・にぎわい創出事業</p> <p>展示「川端康成が歩いた岐阜のまち」 文化芸術に親しむ市民の裾野を広げ、生涯学習としての文化芸術への「興味関心」を高めるため、第60回岐阜市文芸祭 一般の部 作品展・表彰式に合わせ、岐阜と関わりが深い文豪川端康成に関する展示を実施した。</p> <p>ステージ発表「まなバンク登録団体による ランタイルコンサート」 合唱披露公演を実施し、日頃の活動成果の発表する場を提供するとともに、館内のにぎわいを創出した。</p> <p>文化芸術に親しむ市民の裾野を広げ、生涯学習としての文化芸術への「興味関心」を高めるため、文化振興係(岐阜市民文化祭実行委員会)と連携し、以下の催しを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭(芸術祭・文芸祭・美術展) イベントPRおよび各事業報告の展示 ・市民芸術祭 邦舞の部「舞踊万華鏡」プレイベント ・市民芸術祭 洋舞の部「GIFU ダンスフェスティバル 2024」プレイベント 	
<p>・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援</p>	
<p>・生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、きめ細やかな対応に心がけ、昨年度の下期と比べ、コーディネート件数107(70件→75件)に増加した。また、今期は岐阜市地域情報システム「まなバンク」登録更新の時期ということもあり、各団体・サークル等の活動状況を丁寧に聞き取り、今後のコーディネートとつなげた。</p> <p>・岐阜市地域情報システム「まなバンク」を運営し、市民に対して岐阜市内で活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。</p> <p>・「生涯学習・ボランティア通信誌」vol.97、vol.98を発行し、「講座案内」に加えて、「講座レポート」や「活動レポート」を充実させ、講座や活動に参加できなかった市民に対して情報を共有した。</p> <p>・社会貢献活動をしている個人を取材し、広報ぎふボランティア通信欄で紹介することで、地域の社会貢献や福祉活動への関心を高めた。(下半期7名紹介)</p> <p>・市内にボランティア窓口をもつ施設・団体と交流を行い、円滑に協力できる体制を整えた。また、積極的に研修へ参加し、相談担当職員としてのスキルアップを図った。</p> <p>・岐阜大学全学共通教育科目「社会教育施設・支援者論」履修学生28名を対象に、生涯学習拠点施設としての事業運営や施設管理についての講話および施設案内を行い、生涯学習の実践について学ぶ機会を提供した。</p>	

<p>今期の取り組み に対する評価</p>	<p>◇文化振興係</p>
	<p>・岐阜市民文化祭の開催</p>
	<p>岐阜市民文化祭では、芸術祭、文芸祭、美術展の3つの事業が、それぞれの特色を生かしつつも連携しながら事業を展開している。職員は他の展覧会や公演にも積極的に参加し、最新のアイデアやトレンドを取り入れることで、質の高い文化体験を市民に提供している。</p> <p>今年度においては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化祭全体としての周知を図るため、生涯学習センターにおいて市民文化祭のPR動画の上映や各事業のチラシ・ポスターの企画展示を1カ月程度実施。また、美術展、文芸祭の表彰式でもPR動画を上映し、広報効果を高めた。 ・「清流の国ぎふ」文化祭2024の開催期間にかかる事業は、岐阜市の「地域文化発信事業」として企画し、地域交流と舞台芸術の普及に貢献した。 <p>これらの取り組みにより、多様な文化体験の提供と文化振興に寄与し、市民文化祭の価値を一層高めることができた。</p>
	<p>・岐阜市民芸術祭</p>
	<p>・市民芸術祭では、5部門の多彩な舞台芸術が集結し、出演者370名、入場者3,139名を迎え、多くの市民に触れる機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演劇の部では、9月のキックオフイベントや11月のパネル展示によるPRが功を奏し、12月に公演する2劇団のチケット販売が好調となった。 ・洋楽の部「リサイタルシリーズ」では、18年前の新進演奏家コンサート出演者が出演し、その成長を示す喜ばしい成果となった。 ・邦舞の部では、5年ぶりに、市民から出演者を募集し、市民が舞台芸術に参画する機会を提供した。 ・邦舞の部および洋舞の部では、本公演前にプレイベントを生涯学習センター交流サロンで開催し、芸術祭の事業PRを行うとともに、本公演の動員増を試みた。
	<p>・岐阜市文芸祭</p>
	<p>・作品展示・表彰式に、より多くの方に来場してもらえるように工夫・改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルスクエアGが複合施設である利点を生かし、それぞれの施設の利用者の目に触れるように、1F、2Fの共用部を使って作品を展示した。 ・館内各所に開催ポスターや会場案内を掲示し展示会場に誘導。また、近隣施設にも協力を求め、施設外にもポスター・看板を設置し開催の周知を図った。 ・小・中学生の部においては、ハートフルフェスタでの企画展示や、展示期間前より市内施設(ドリームシアター岐阜、中央青少年会館除く青少年会館4館)で上位3賞の展示を行い、事業のPR強化を試みた。 <p>・表彰式において、受賞者、参加者双方の満足度を高めるように工夫・改善に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の部では、表彰式の前に芸術祭の邦舞プレイベントを行い、来場者増加につなげた。また、式前には市民文化祭のPR動画を上映し、市民文化祭としての事業PRを強化した。 ・一般の部、小・中学生の部ともに、表彰式においては受賞作をスクリーンに投影。情報を視覚化することで、受賞者、来場者、双方の満足度を高めるよう努めた。 ・小・中学生の部において、受賞者との連絡にLogoフォームを利用するなどDX化に努めた。
	<p>・岐阜市美術展覧会</p>
	<p>・例年にはない2会場での開催となったことから、市庁舎や会場付近のガードレールへの横断幕の設置し、市民への周知を図った。結果として、多くの来場者(8,810人)が訪れ、市民に幅広く美術に触れ合う機会を提供できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開場式で市展覧受賞作品をスクリーンに投影し、受賞者、参加者双方の満足度を高めるよう努めたとともに、開場式及び表彰式において、市民文化祭のPR動画を上映し、市民文化祭としての事業PRを強化した。 ・新たにwebアンケートを導入し、DX化を推進するとともに、回収方法の多様化により、幅広く来場者の声を拾えるように試みた。 ・文芸祭の小中の部の作品展示期間中に、キュービクギャラリーにて、今年度の美術展覧会をおさめた写真を展示し、次年度に繋げる事業PRを実施した。
	<p>・岐阜市芸術文化協会との連携</p>
<p>岐阜市の芸術文化の創造・発展・保存などへの寄与を目的とする岐阜市芸術文化協会と連携し、各種事業を開催。市民の芸術文化活動の促進及び芸術文化団体との情報交流により、新たな協働による芸術文化の振興に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレートーク 「音がもたらす人間への奇跡」(2月) 人間の体内にも「音」があることは科学的にも証明されている。実は、音楽に癒される感動という事象も科学的根拠によって裏付けられており、そうした音が人間へもたらす様々な可能性について学んだ。 ・まちかどコンサート 「第2回まちかどコンサート」(12月) 協会会員の大正琴一位会、フラメンコ・ダンス・フラメンカ、箏(こと)きらら、プリマムジカ岐阜による演奏会を開催し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。 「第3回まちかどコンサート」(3月) 協会会員の箏曲 岐阜正絃社、椿亭半笑、smash dance、女声合唱団ヴォーチェ・マルガリータによる公演会を開催し、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。 ・「ぎふ市民劇 道三 ―斎藤道三の半生―」(11月) 「清流の国ぎふ」文化祭2024における岐阜市の地域文化発信事業として、協会会員・公募市民を合わせ、演劇、邦楽、邦舞、洋楽、洋舞、合唱の多彩なジャンルが融合した総合舞台となり、幅広い文化芸術に触れる機会を提供した。 ・「市文協ニュース」の発行 12月と3月に発行。協会の活動を紹介するとともに市民文化祭等の多様な芸術文化に関する情報を掲載し、広く市民に情報提供を行った。 	
<p>・自主企画事業の実施</p>	
<p>・文化事業助成 9件704,240円の助成を実施した。また、既存の文化団体・個人の継続活動や、活動を再開により、次年度上半期の助成申請は3件を受付し、それぞれに対し助成予定である。</p> <p>・芸術文化奨励賞 前年度受賞者と連携し、ハートフルスクエアGや他施設でのロビー展示を行い、質の高い鑑賞の機会を市民に提供した。</p> <p>受賞者のPR動画をハートフルスクエアGおよび市庁舎に設置されているモニターで上映するなど、本事業についての情報発信を強化した結果、推薦件数が昨年度の3件から8件へと大幅に増加した。</p>	

今期の取組み
に対する評価

●女性センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて、所管課と協働を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。女性センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、女性センター主催講座は「長良川大学」講座として実施した。

・学習機能

女性センターの相談事業を通してみてきた女性の現代的課題の解決に向けた講座を積極的に実施した。

- ・ **わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座**
「ココから始まるMy Career～自分軸で生きていくヒントをつかもう～」
「自分のキャリアを見つめ直す」をテーマに、人生を自らが決断し、積極的に歩んでいくことができるよう、**内なる自分と向き合う機会を提供した**。育休中の30～40代や40～50代の専業主婦など幅広いライフスタイルの世代の参加となった。「自分軸で生きていく」というタイトルに惹かれ受講を決めた方が多数であった。**新規受講者が約70%**、また、**30～50代の参加率が約87%**であったことから、**次世代の受講者層獲得に繋がる貴重な機会**となった。
- ・ **男女共同参画セミナー**
「変わりゆく日本の家族のかたち～今、求められる価値観とは～」
家族の実態が多様化する一方で、未だ日本の社会構造は、現在のライフスタイルの変化に追いついていないという現状にある。**画一的な家族像をアップデートし、現代の多様な家族のかたちについて理解を深めるセミナーを実施した**。応募者の年齢層は**20～70代と幅広い世代**で、その内、**約3割の男性にも関心が寄せられたテーマ**であった。「社会学を通して様々な考え方を知り、新しい家族のかたちの理解が深まった」など、受講者の**満足度は約95%**と好評であった。
- ・ **心とからだ・性の健康関連セミナー**
「時々しんどい親子の関係～わたしの家族はどうしてこうなの～」
相談事業において、親子(母と娘)の関係性に悩む相談者が多数存在していることから、**自分自身を大切にしながら互いに尊重し合える家族の関係性づくりについて学ぶ講座を企画した**。定員の**2倍以上(82名)の申込み**があり、講師と協議の上、**受講数を増やして開催する運びとなった**。「気づきの言葉やより良く人生を過ごすヒントをもらい、肩の荷が下りた気がした。」などの感想が寄せられ、**満足度は約98%**と好評であった。
- ・ **お出かけ！お迎え！男女共同参画出張講座**
「岐阜市少年自然の家ボランティアスタッフ研修会」
将来的に**教員を目指し、青少年育成に関わるボランティア活動を行っている大学生を対象に**、男女共同参画社会の現状を伝えるとともに、「女性・男性はこうあるべき」という**アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)について考えるきっかけとなる**講義を行った。子どもと関わる仕事に就く学生に対して男女共同参画への理解を図るとともに、女性センター事業を広く知ってもらう機会となった。

・交流機能

- ・ **ハートフルネットぎふ例会**
男女共同参画についての理解を深めていくため、原則毎月第2木曜日に、女性センターを利用する**20の市民団体**が集い、学習会や団体活動紹介などを行う機会を提供した。今回は**団体の代表者が講師となるリレーワーク方式を中心**に、「**共同親権**」や「**LGBTQ+への理解と課題**」など様々なテーマについて学び、グループワークを通して活発な意見交流を行うことができた。
- ・ **ハートフルフェスタ2025**
岐阜工業高等学校の生徒や**岐阜市消防本部**などの協力を得て、「ドローン体験」や「ちびっこ消防士体験」など親子で楽しめるコーナーやステージ発表を開催したことにより、多くの市民で賑わった。また、岐阜市主催の「**アンコンシャスバイアス川柳**」の表彰式に**続き、優秀作品の展示**を行ったことで、館内来場者に男女共同参画についての周知を図ることができた。**フェスタ参加者数は昨年度比(2,939→3,674人)25%増**となった。

・情報機能

- ・ **市民への情報発信**
InstagramやX(旧ツイッター)において**タイムリーな情報発信**を心掛けた。毎月の窓口開設日や専門相談日を掲載したカレンダー画像を作成し掲載したところ、Instagramにおいては**複数のユーザーに投稿を保存(ブックマーク)**されるなど、有益な情報提供を行うことができた。**HP・SNS発信件数は昨年度比(年間286→295件)に増加**。
- ・ **男女共同参画情報紙「織」の発行**
岐阜市立女子短期大学の学生が主体となり、学生ならではの視点でテーマを決め、企画編集を行った。今回は、「**10代から知ってほしいプレコンセプションケア～健康な自分で描く未来図～**」をテーマに、自分の思い描く未来の実現に必要な身体の基礎づくりについて理解を深めるため、**産婦人科医にインタビュー**を行った。保健センターをはじめとした岐阜市内の公共施設や全国の男女共同参画関連施設に配布したところ、各所より高い評価を得ることができた。
- ・ **複合施設の特徴を生かした情報発信**
各イベントに合わせた啓発活動として、館内への展示を行うとともに、図書館分館内において関連図書の特設コーナーを設けるなど、**ハートフルスクエアGの特徴を生かしながら、より広く多角的な情報発信を行った**。
 - ・ 「**女性に対する暴力をなくす運動**」及び「**児童虐待防止推進**」の展示(11月)
1階壁面に、11月12～25日の**女性に対する暴力をなくす運動(パープルリボン)**期間に合わせた展示、また、児童虐待防止推進月間(11月)合わせた**児童虐待防止推進キャンペーン(オレンジリボン)**に関する展示を実施し、幅広い世代に向けて啓発を行うことができた。
 - ・ 「**国際女性デー**」及び「**女性の健康週間**」の展示(3月)
3月8日の**国際女性デー**と3月1～8日の**女性の健康週間**に合わせて関連パネルの展示を行った。また、令和6年に施行された「**困難な問題を抱える女性への支援に関する法律**」に関するテーマを取り扱い、最新の情報を提供することができた。

・相談機能

- ・ **相談業務の実施**
 - ・ **電話相談**
必要に応じて、「女性と社会のつながりサポート事業」と連携しながら、より専門的な支援先へ繋げることができている。
 - ・ **専門相談**
更なる利用率促進を図るため、館内に設置してある**専門相談の案内看板(全4か所)に空き情報を掲載し**、積極的な情報発信を行ったことから、前年度比(240件→267件)と相談件数が増加した。

<p>前回までの意見の 取組み状況</p>	<p>●所管課の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化振興係:今後も効果的な情報発信を実施しながら、長い歴史のある市民文化祭をより多くの人に参加いただけるよう盛り上げていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市民文化祭の相互の事業間において、またそれぞれの各部門や実行委員会と連携しながら、効果的な情報発信に取り組んだ。特にSNSやWEB媒体を活用した広報活動を強化し、市民文化祭の魅力を幅広い層に伝えることで、参加者の増加と認知度の向上を図った。 ⇒市民文化祭全体としての周知を図るため、生涯学習センターにおいて市民文化祭のPR動画の上映や各事業のチラシ・ポスターの企画展示を1カ月程度実施。また、美術展、文芸祭の表彰式でもPR動画を上映し、広報効果を高めた。 ●女性センター:「女性と社会のつながりサポート事業」では対面相談を重視するため、電話相談を廃止した結果、相談件数は昨年度と比べると減少となったが、今後も、様々な課題や困難を抱える女性に寄り添った支援ができるように、関係機関との連携に努めているよう期待する。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒若年層や高齢者からの相談件数が全体の約26%を占めるなかで、「エールぎふ」や、「包括支援センター」など関係機関へのスムーズな連携に努めることができた。また、対面相談を重視したことにより、複合的な悩みを紐解き、適切な機関へ繋げることができた。 <p>●指定管理者評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ●タイムリーな講座を様々な団体とコラボレーションして開催するなど、講座内容の充実に取り組んでおり評価できる。 <p>(学習) ⇒引き続き、講座アンケートや市民の声に耳を傾けるとともに、身近な課題解決に向けた題材や身近で話題性のあるテーマを題材とした講座を実施し、内容の充実に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●講座については、オンデマンドでの提供や複数会場での開催などを検討してはどうか。 (R5下期 評価委員会の意見) <p>(学習) ⇒今期においては、施設的环境整備を進めることはできたが、他会場との日程調整や配信環境が整わず実施に至らなかった。次年度において実施できるよう、引き続き他施設との連携、調整を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●女性センター:女性の起業が増えていることから、女性センターで講座を開催するなどにより支援出来たら良い。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒今期は育休中や専業主婦などの女性の社会復帰の後押しとなる講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・「ココから始まるMy Career—自分軸で生きていくヒントをつかもう—」 「自分のキャリアを見つめ直す」をテーマに、人生を自らが決断し、積極的に歩んでいくことができるよう、内なる自分と向き合う機会を提供した。自分軸で自身の「イマ」と「コレマデ」をみつめ直し、「これから」を描き生きていくきっかけづくりとした。 ・「変わりゆく日本の家族のかたち～今、求められる価値観とは～」 家族の実態が多様化する一方で、未だ日本の社会構造は現在のライフスタイルの変化に追いついていないという現状があることから、画一的な家族像をアップデートし、現代の多様な家族のかたちについて理解を深めるセミナーを実施した。 ・「時々しんどい親子の関係～わたしの家族はどうしてこうなの～」 相談事業において、親子(母と娘)の関係性に悩む相談者が多数存在していることから、自分自身を大切にしながら互いに尊重し合える家族の関係性づくりについて学ぶ講座を企画した。 ・起業するにあたり必要なスキルアップ講座は、岐阜市(労働雇用課)が開催する講座を、SNSやホームページによるPRを積極的に行うことで連携を図ってきた。
	<p>今後の取組み</p>

●所管課の意見

生涯学習センター

・地域課題の解決に向けた題材から、身近で話題性のある題材まで、幅広い講座事業を実施し、市民のニーズに常に対応する姿勢が見られる。多くの講座で定員以上の応募があり、講座の企画・提案等が評価できる。
・市民自主講座の開催が前年度より増え、生涯学習・ボランティア相談コーナーでのコーディネート件数も増加している。今後も、市民の主体的な活動をサポートし、自ら学び、楽しみ、貢献できる環境づくりの推進を期待する。
・施設内で事故等が発生した際に、生涯学習センターに情報を集約しつつ、不審者情報や迷惑行為等をハートフルスクエアG各施設や、警察署とも情報共有し、リスク管理の充実が図られている。今後も、組織として対応できるよう連携体制の構築に努められたい。

女性センター

・相談事業を通してみてきた家族に関する相談等の現代的課題の解決に向けた講座を実施することができ、受講者の高い満足度を得ることができたのは評価できる。
・InstagramやXにおいてタイムリーな情報発信をするとともに、毎月の相談窓口開設日や専門相談日を掲載したカレンダー画像を作成し掲載するなどの有益な情報提供を実施した結果、相談件数の増加につなげることができた。
・「女性と社会のつながりサポート事業」では若年層や高齢者からの相談件数が全体の約26%を占めることから、「エールぎふ」や、「地域包括支援センター」などの関係機関へのスムーズな連携に努めることができ、連携体制が構築されてきていると評価できる。今後も相談者をより適切な支援機関につなげることができるようスキルの上昇や、関係機関との更なる連携強化に努められたい。

文化振興係

文化振興業務は、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が市民及び文化芸術団体との協働により安全・円滑に実施されていた。
市民文化祭(芸術祭・文芸祭・美術展)全体としては、生涯学習センターにおいてPR動画の上映や企画展示の実施による新たな方法での周知が図られた。「芸術祭」では、邦楽の部において、市民から出演者を募集し、舞台芸術に参画する機会を提供したこと、「文芸祭」では、作品募集をオンライン化するとともに、施設の共用スペースを活かした作品展示を行ったこと、「美術展」では、ぎふメディアコスモスを追加した2会場で開催したことなど、新たな取り組みによって、多くの人が文芸に関心を高め気軽に触れられる環境づくりに努めたことが、応募人数等の実績に繋がっていることを評価する。
今後も効果的な情報発信を実施しながら、応募等の手続きのDX化を進めるなど、より多くの人に参加してもらえるような工夫により、長い歴史のある市民文化祭がより充実した内容になることを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

講座について、応募者の多いものは、オンデマンドで見ることができるよう、考えていただくのが良いのではないかと。

Zoomなどでも実行できるような仕組みにしておくことが必要ではないかと。

作品の展示会は、Webでも作品を見ることができるよう、そういう仕組みができるとうい。

若い方は、ログフォームで応募するという方が、非常に手軽でやりやすい。作品を公開・公表させてもらう等、応募段階で了解いただけるといいのではないかと。

事務局費の割合等について、その他の指定管理のお金の使い道と、少し違うところがある点がある気がなる。

アスティ岐阜もオープンし、賑わっているため、アスティ岐阜にも、掲示を置いてもらうのが良い。

使用料も上げていて、燃料費が上がっているのも確かだが、経費削減と使用者の快適性。このあたりを少し考えられるとうい。

市民自主講座について、YouTubeで流す等、それが良いかは分からないが、そういったことができれば良い。アーカイブに載せたりするのも、やる方にとつては、面白いかもしれない。